

## メビウス研究会（第170回）

日時：2012年2月18日（土）、14:00～17:15

場所：京都外国語大学

教室：143教室（1号館4階）

キャンパスマップ：<http://www.kufs.ac.jp/aboutkufs/campus/map/index.html>

交通アクセス：<http://www.kufs.ac.jp/aboutkufs/campus/access/index.html>

問い合わせ先：英米語学科 渋谷研究室

メールアドレス：y\_shibuya@kufs.ac.jp

### ●プログラム：

第一発表：14:00～15:30（発表時間：60分、質疑応答：30分）

タイトル：構文、イディオム、そしてパターン

発表者：仁科恭徳

所属：立命館大学

要旨：本発表では、英語の構文やイディオム、パターンなど、特定の型にはまった言語単位に注目し、様々な観点からその実態に迫ります。特に、近年英語学で関心が高い結果構文に関して今後解明されるべき点を整理します。また、英語のイディオムの文法操作に関するアスペクト分析や、最近のコーパス言語学の知見を生かした英語の「パターン」のレジスター(使用域)分析の一例なども紹介する予定です。

第二発表：15:45～17:15（発表時間：60分、質疑応答：30分）

タイトル：結果構文から見える英語の構造

発表者：吉川裕介

所属：佛教大学

要旨：本発表では、結果構文やその周辺に位置づけられる諸構文を観察することで、英語の構造に潜む様々な不思議を、意味論の立場から明らかにしたいと思えます。語と語の結びつきは恣意的なものではなく、目には見えない「何か」に基づいて生成されています。その「何か」を明らかにする1つの方法論として語彙意味論を紹介し、英語を丁寧に観察することによって浮かび上がる規則性についてお話しします。

## メビウス入門セミナー（2011年度・第6回）

日時：2012年2月18日（土）、11:00～12:30

場所：京都外国語大学

教室：143教室（1号館4階）

タイトル：コーパス言語学入門 ― 言語研究にコーパスはどのように利用されているか

講師：赤野一郎先生

要旨：近年、理論的であれ実証的であれ、言語研究にコーパスを活用する研究者が増えています。英語教育、特に語彙指導や文法指導にコーパス言語学の知見が活かされています。今日の辞書づくりにはコーパスは欠かせません。本講義では、このように多方面で利用されているコーパスとその使い方について英語を例に具体的に紹介します。

京都外国語大学国際言語平和研究所

メビウス研究会